



## 平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社  
コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	23,600	7.0	999	26.8	988	2.4	758	25.1
27年6月期第3四半期	22,056	4.2	788	31.3	965	40.2	606	32.2

(注)包括利益 28年6月期第3四半期 588百万円 (△14.8%) 27年6月期第3四半期 690百万円 (22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年6月期第3四半期	189.28	—
27年6月期第3四半期	152.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第3四半期	22,354	9,044	38.9
27年6月期	21,521	8,571	38.2

(参考)自己資本 28年6月期第3四半期 8,686百万円 27年6月期 8,226百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年6月期	—	0.00	—		
28年6月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	31,000	5.0	1,000	20.1	1,100	5.1	630	0.0
								156.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期3Q	4,369,200 株	27年6月期	4,369,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年6月期3Q	355,116 株	27年6月期	372,516 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	4,006,591 株	27年6月期3Q	3,972,111 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界及び我が国の経済情勢は、新興国・資源国を筆頭に成長の鈍化が顕著になる中、好調に推移している米国経済も世界経済の不安定な動きを主な理由に米ドル政策金利の引き上げペースを鈍化させ、この結果我が国経済は、日銀のマイナス金利導入という追加緩和策にも拘わらず円高が進行し、これらのマイナス要因により経済成長のスピードをさらに鈍化させる状況で推移しました。

当社グループとしましては、比較的好調に推移している日系製造業の海外設備投資案件を海外ネットワークを活かして確実に取り込む努力を引き続き続けています。そしてその成果も出てきていることに加え、メカトロニクス等の分野での子会社も好調であることから、前年同四半期と比較し、増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は236億円（前年同期比7.0%の増）となり、損益面としましては、営業利益が9億99百万円（同26.8%の増）、経常利益が9億88百万円（同2.4%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が7億58百万円（同25.1%の増）となりました。尚、第3四半期の実績としましては売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全ての項目に関して、過去最高となりました。

なお、当社のセグメント別概況は次のとおりです。

## &lt;インテリジェントFAシステム事業&gt;

インテリジェントFAシステム事業では、水処理やビル空調等の環境関連ビジネスや制御装置等のビジネスが好調でしたが、太陽光システムビジネスの一部に利幅が薄い取引があったため、売上高は増収となりましたが、損益面では減益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は81億73百万円（前年同四半期比4.3%の増）、営業利益は3億48百万円（同12.1%の減）となりました。

## &lt;IT制御・科学測定事業&gt;

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においてはメカトロニクス関連ビジネスや輸送機業界向けの計測・制御機器等が好調に推移したことから、増収増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高153億67百万円（前年同四半期比8.4%の増）、営業利益は9億1百万円（同42.8%の増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は223億54百万円で、前連結会計年度末に比べ8億33百万円の増加となりました。これは主として有価証券を償還したこと等による現金及び預金の増が6億11百万円、取引増による受取手形及び売掛金に電子記録債権を合わせた売上債権の増が2億67百万円、静岡市駿河区での土地購入による土地の増2億11百万円等の増加要因が有価証券の減少2億93百万円等の減少要因を上回ったこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が133億10百万円で、前連結会計年度末に比べて3億59百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金に電子記録債務を加えた仕入債務が6億35百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が90億44百万円で、前連結会計年度末に比べて4億73百万円増加しました。これは主として株価下落によりその他有価証券評価差額金が1億85百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益計上等による利益剰余金が6億18百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、低落を続けてきた原油価格によろやく底が見えてきたこと、為替等の金融市場も小康状態になってきたこと等から落ち着きを取り戻しつつあります。これを受けドル円相場も安定してきています。しかし、我が国経済を力強く引っ張る機関車役のプレーヤーは見当たらず、今年度末の6月に向けても足元の高揚感のない緩やかな成長が続いていくものと予想しております。

斯様な環境下、当社グループは十数年にわたり築き上げてきた海外子会社ネットワークを活用した海外展開が着実に成果を結び、重要顧客である大手製造業の海外設備投資に対して、海外子会社を含めたグループ総合力にて積極的に関与できること、現地化が進む日系製造業各社に対してもさらなる取引の深耕が期待できること等より、海外を絡めた取引がさらに一層増加させることが期待できるところであります。

国内においても、従来から注力してきた半導体基板検査装置ではX線を使用した最新の検査装置が順調に推移しており、加えて今後急速に普及することが予想されるIoT (Internet of Things) は従来から当社グループが取り組んできたインテリジェントFAシステムビジネスの延長線上にあるものであり、当社グループとしましては新たな展開へ向けて、お客様への提案力をさらに強化する所存です。さらに昨年6月に静岡県内の企業として初めて「エネマネ事業者」として採択されたことにより、補助金対象として登録された当社グループ製品の拡販にも力を入れ、省エネ・環境配慮型製品も今後大きく取引を伸張させることができると考えております。

以上により、平成28年6月期の通期業績予想につきましては、平成27年8月10日の決算短信にて発表の連結業績予想に変更ありませんが、ここまでのところ業績が順調に推移しており、財務状況等を総合的に勘案し、期末配当金予想を当初予想から普通配当を5円増配し1株当たり40円に修正することといたしました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	977,436	1,589,157
受取手形及び売掛金	9,671,073	9,359,989
電子記録債権	738,534	1,317,256
有価証券	452,903	159,242
商品及び製品	401,551	588,347
仕掛品	321,278	416,710
原材料	564,506	508,271
その他	472,891	610,296
貸倒引当金	△27,997	△30,340
流動資産合計	13,572,176	14,518,932
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,693,429	4,905,279
その他(純額)	926,426	909,408
有形固定資産合計	5,619,856	5,814,687
無形固定資産		
	110,048	102,631
投資その他の資産		
投資有価証券	1,591,300	1,448,855
その他	686,468	528,204
貸倒引当金	△58,392	△58,352
投資その他の資産合計	2,219,376	1,918,707
固定資産合計	7,949,281	7,836,026
資産合計	21,521,458	22,354,959
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,541,358	6,860,435
電子記録債務	707,793	1,024,496
短期借入金	2,600,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	18,075	-
未払法人税等	304,168	250,796
賞与引当金	127,525	263,910
役員賞与引当金	34,650	-
その他	782,040	447,940
流動負債合計	11,115,611	11,247,579
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,500,000
退職給付に係る負債	184,783	193,119
その他	549,868	369,468
固定負債合計	1,834,651	2,062,588
負債合計	12,950,263	13,310,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,852,934	1,858,752
利益剰余金	5,158,264	5,776,734
自己株式	△458,150	△436,819
株主資本合計	7,994,489	8,640,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,008	46,028
その他の包括利益累計額合計	232,008	46,028
非支配株主持分	344,696	358,656
純資産合計	8,571,194	9,044,791
負債純資産合計	21,521,458	22,354,959



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	22,056,119	23,600,625
売上原価	18,589,327	19,904,869
売上総利益	3,466,791	3,695,755
販売費及び一般管理費	2,678,345	2,696,393
営業利益	788,446	999,362
営業外収益		
受取利息	9,705	6,359
受取配当金	13,348	12,406
仕入割引	25,386	26,257
為替差益	128,259	-
貸倒引当金戻入額	1,185	-
雑収入	16,343	18,417
営業外収益合計	194,229	63,440
営業外費用		
支払利息	14,257	11,790
手形売却損	615	454
売上割引	2,425	2,319
為替差損	-	56,265
雑損失	48	3,004
営業外費用合計	17,347	73,834
経常利益	965,328	988,968
特別利益		
固定資産売却益	486	2,032
投資有価証券売却益	78,840	52,967
受取保険金	-	242,336
保険差益	1,360	-
段階取得に係る差益	2,498	-
特別利益合計	83,186	297,336
特別損失		
固定資産除却損	341	406
固定資産売却損	13	6
投資有価証券評価損	-	36,475
お別れの会関連費用	-	10,605
特別損失合計	355	47,494
税金等調整前四半期純利益	1,048,158	1,238,810
法人税等	405,334	441,191
四半期純利益	642,824	797,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,435	39,265
親会社株主に帰属する四半期純利益	606,388	758,353

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	642,824	797,619
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	48,141	△209,221
その他の包括利益合計	48,141	△209,221
四半期包括利益	690,965	588,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	649,704	572,373
非支配株主に係る四半期包括利益	41,260	16,024

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,833,385	14,174,909	22,008,294	47,825	22,056,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	102,483	72,754	175,238	52,604	227,842
計	7,935,869	14,247,663	22,183,532	100,429	22,283,962
セグメント利益	396,911	631,646	1,028,557	70,543	1,099,101

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028,557
「その他」の区分の利益	70,543
全社費用(注)	△310,654
四半期連結損益計算書の営業利益	788,446

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,173,072	15,367,039	23,540,112	60,512	23,600,625
セグメント間の内部売上高又は振替高	152,961	68,066	221,028	52,299	273,327
計	8,326,034	15,435,106	23,761,140	112,812	23,873,952
セグメント利益	348,776	901,965	1,250,742	88,448	1,339,190

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,250,742
「その他」の区分の利益	88,448
全社費用(注)	△339,828
四半期連結損益計算書の営業利益	999,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。